



職名	助教
所属	機械工学科
フリガナ氏名	ナカヤマ シン 中山 信 nakayama@me.kochi-ct.ac.jp
学位	博士(工学)(明治大学 2012)

1. 履 歴

学 歴	2004.3 明治大学大学院理工学研究科博士前期課程修了 2012.3 明治大学大学院理工学研究科博士後期課程修了
職 歴	2004.4 ジョンソンコントロールズ株式会社 2006.4 明治大学理工学部 (RA) 2011.4 神奈川工科大学創造工学部 (非常勤講師) 2012.4 高知高専 機械工学科 (助教)

2. 講義・委員会等

講義科目	本 科：制御工学, 演習 メカトロニクス 工学実験 I, II 創造設計基礎, 演習基礎製図 II 卒業研究
学内委員会等	2012.4 - 現在 教育改善推進委員 サッカー部副顧問 陸上部副顧問 2012.4 - 2014.4 学級副担任 2014.4 - 現在 学生生活委員 2015.4 - 現在 学生主事補佐

3. 社会的貢献

役員等	2014.4 - 現在 計測自動制御学会 四国支部顧問
-----	-----------------------------

4. 研究活動

専門分野	制御工学
所属学会	計測自動制御学会 システム制御情報学会 日本機械学会

研究テーマ	1) ビニールハウスのモデル推定と温湿度予測制御 2) 非線形制御理論に関する研究 3) 外乱影響抑制 H^∞ 制御に関する研究
主要論文・著書等	1) 中山信 “Matlab を用いた加温システムに対するモデル推定,” 計測・動制御学会四国・部学術講演会, pp.30-32, (2014) 2) 中山信, 宮田剛 “ウェーブレット解析による疑似外乱トルクパターン生成,” 計測・動制御学会四国・部学術講演会, pp.191-193, (2013) 3) Shin Nakayama, “A SDRE Method based on Extended Quadratic Lyapunov Function for an Inverted Pendulum,” SICE Annual Conference 2013, pp.697-702, (2013) 4) 岡崎大洋, 岡宏一, 中山信, “ H^∞ 制御を用いた薄鋼板の非接触振動抑制機構,” 日本機械学会中国四国支部 第 51 期総会・講演会, No. 612, (2013) 5) 中山信, “SDRE・SDRI 手法を用いた腱駆動ロボットアームに対する双線形 H^∞ 状態フィードバック制御器,” 第 55 回自動制御連合講演会, pp.1318-1321, (2012) 6) Shin Nakayama, Hiroaki Kobayashi, “A Bilinear H^∞ Controller using a Bilinear Disturbance Isolation Observer for a Heat Exchanger containing Unknown Disturbance Flows,” SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration, Vol. 4, No. 2 pp. 137-144, (2011) 7) 中山信, 小林博明, “SDRE・SDRI 手法を用いた腱駆動ロボットアームに対する双線形 H^∞ 状態フィードバック制御器,” 第 54 回自動制御連合講演会, pp.128-131, (2011) 8) 中山信, 小林博明, “SDRE・SDRI 手法を用いた熱交換器に対する双線形 Y-K オブザーバ H^∞ 制御器,” 第 53 回自動制御連合講演会, pp.1266-1271, (2010) 9) Shin Nakayama, Hiroaki Kobayashi, “ H^∞ Controllers using a Bilinear Y-K Observer for Heat Exchangers with a Bilinear Input and a Bilinear Disturbance,” SICE Annual Conference 2010 in Taiwan, pp.1577-1585, (2010) 10) Shin Nakayama, Hiroaki Kobayashi, “ H^∞ Output Feedback Control for Heat Exchangers with a Bilinear Input Flow Rate Term and a Bilinear Disturbance Flow Rate Term,” ICROS-SICE International Joint Conference 2009, pp.1530-1535, (2009)